

令和4年度寒川町子ども・子育て支援事業計画進行管理に対する
質問・意見と回答

ページ	事業名	質問・意見内容	町からの回答
85	93 特別支援教育推進事業（小学校・中学校）	「評価の理由」に「特別支援学級の児童・生徒が年々増加傾向にあり、また通常学級も支援を要する児童・生徒が増加していることから、今後も計画的に補助員の増加をしていく必要がある。」と記載されているが、特別支援学級に補助員を増加して通常学級で支援を要する児童・生徒が特別支援学級に入りやすくする、ということか、または、通常学級の支援が必要な児童・生徒に対して通常学級で過ごすための補助員の増加を検討するということか、どちらの意味か。	<p><学校教育課></p> <p>年々、特別支援学級に在籍する児童数・生徒数は増加し、さらに複雑化、多様化しており、1対1の対応が必要になる場面も見られる。こうした児童・生徒の増加に対応すべく補助員の増員を図り、指導体制を構築することが必要である。また、すべての子どもたちが共に学ぶ「インクルーシブ教育」の推進として、現在、通常学級との交流を拡大しているが、国からの指導のとおり交流時に支援を行う補助員等を配置することが必要である。以上2点によって「特別支援学級補助員」の増員を検討するものである。</p>